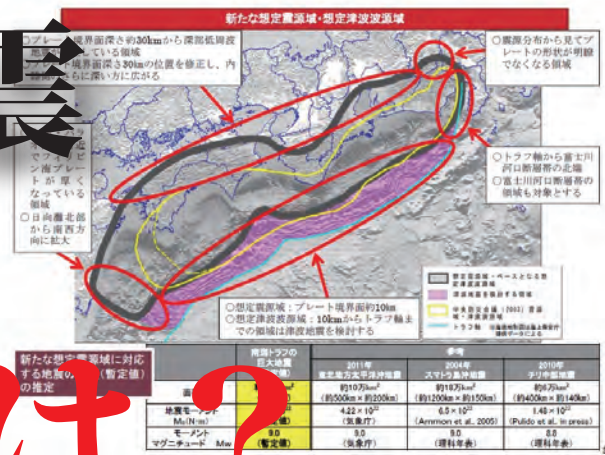


南海トラフ地震 その時、 名古屋大学は？



名古屋大学災害対策室長
飛田潤

第9回は、名古屋大学の防災について、災害対策室長からお話しします。大規模地震災害が発生したら、大学はどのような状況になるのか、大学の災害対応はどうなっているのか、一人ひとりが日ごろから何を準備したらよいか、ぜひみなさんに知っておいていただきたい内容です。

災害の多い日本、東海地域で過すにあたり、ぜひ知っておきたい防災、減災の知識や心構え。「減災まなび舎」では、防災、減災について災害対策室・減災連携研究センターの教員がわかりやすくまとめて説明します。場所は、「減災館」。毎月一回、水曜午後一時から二時の二時間開催します。

第9回 名古屋大学減災まなび舎 (まなびや〜) ※学内の学生・教職員、関係事業者、周辺住民が対象です。

【減災まなび舎の年間開催予定】

- 5/13 (水) 「名古屋大学の水害リスクとは？」 田代 喬准教授
- 6/ 3 (水) 「レジリエンス」ってなに？～災害に負けない
しなやかな社会や組織に向けて～ 鈴木康弘教授
- 7/15 (水) 「身を守るための火山の知識」 山岡耕春教授
- 10/21 (水) 「火災から身を守るには」 廣井 悠准教授
- 11/18 (水) 「室内で被災しないために」 講演者未定
- 12/16 (水) 「災害と学生ボランティア」 講演者未定



平成 27 年 **4/22(水) 13:00-14:00**
減災館 1F 減災ホール ※参加費無料

主催：名古屋大学災害対策室・減災連携研究センター

問い合わせ先：災害対策室

TEL:052-788-6040 FAX:052-788-6039
e-mail:dmo@seis.nagoya-u.ac.jp